

経営比較分析表（令和5年度決算）

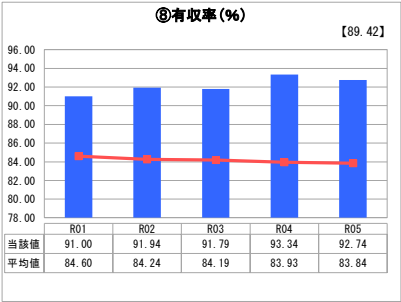
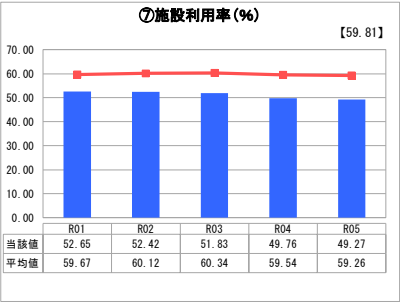
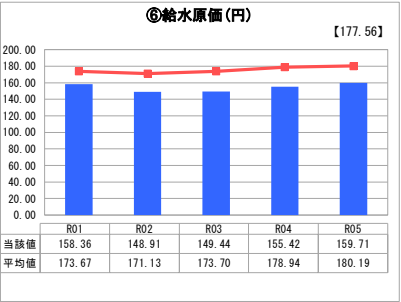
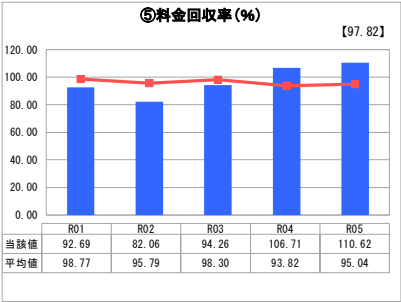
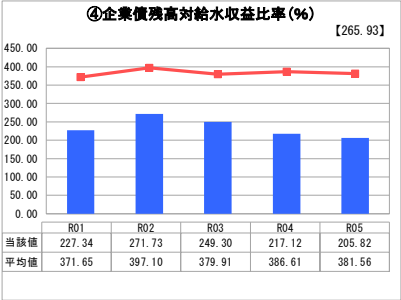
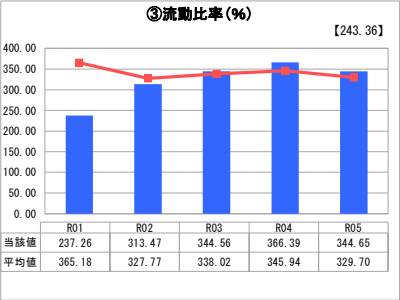
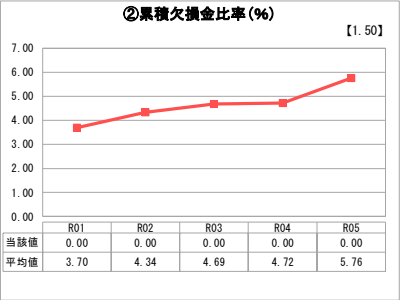
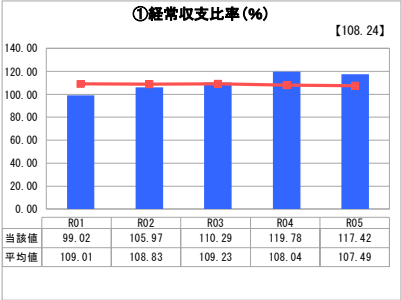
埼玉県 毛呂山町

業務名	業種名	事業名	類似団体区分	管理者の情報
法適用	水道事業	末端給水事業	A5	非設置
資金不足比率(%)	自己資本構成比率(%)	普及率(%)	1か月20m ³ 当たり家産料金(円)	
-	80.82	99.84	2,593	

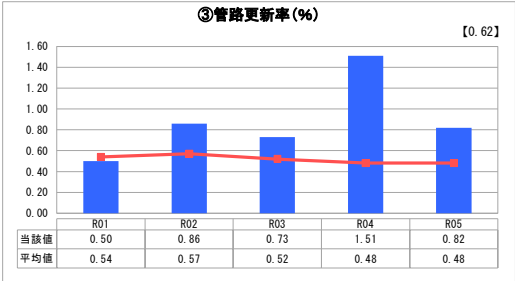
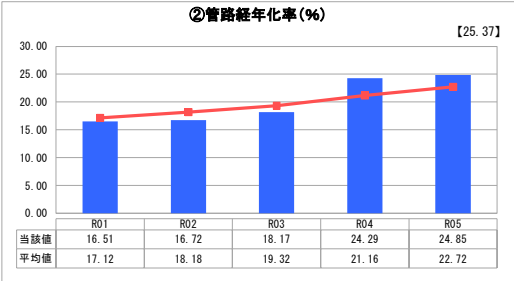
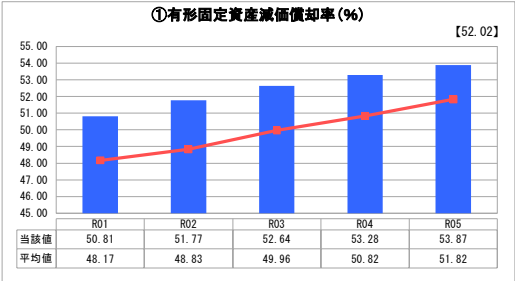
人口(人)	面積(km ²)	人口密度(人/km ²)
32,365	15.33	2,111.22
現在給水人口(人)	給水区域面積(km ²)	給水人口密度(人/km ²)
32,156	24.20	1,328.76

グラフ凡例
■ 当該団体値（当該値）
— 類似団体平均値（平均値）
【】 令和5年度全国平均

1. 経営の健全性・効率性



2. 老朽化の状況



分析欄

1. 経営の健全性・効率性について

①経常収支比率
100%を超えており、単年度収支が黒字であることを示している。

③流動比率
類似団体の平均を超えており、また100%も大きく超えているが、今後の給水収益の減少を踏まえると、引き続き経営努力が必要である。

④企業債残高対給水収益比率
類似団体と比較しても低くなっている。今後も適正な借入を検討して必要がある。

⑤料金回収率
料金改定に伴い、料金収入が増加したため、類似団体及び100%を超える状況維持されている。

⑥給水原価
類似団体平均より低く抑えられているが、前年度より上昇している。経費削減など経営努力が必要である。

⑦施設利用率
比率が50%を下回り、前年より下がってしまった。今後の水需要を踏まえて施設のダウンサイジング等の検討が必要である。

⑧有収率
類似団体の平均は上回っているが、前年度より下回ってしまっている。効率的な管路更新が必要である。

2. 老朽化の状況について

①有形固定資産減価償却率
年々増加傾向にあり、類似団体の平均も超えている。施設・管路などの老朽化が進んでいるため、今後も計画的に更新をしていく必要がある。

②管路経年化率
大幅に上昇した前年度を、さらに上回っている。耐用年数に達し、更新時期を迎えた管路が増えてきている。今後は積極的な老朽管の更新を実施していく必要がある。

③管路更新率
類似団体の平均は超えているものの、前年度より大きく下回ってしまった。経年化率も上昇しているため、更新率を上げていくよう努力が必要である。

全体総括

経営の健全性については、令和3年10月にを行った料金改定の影響もあり、財政面について改善傾向にある。しかし、施設面については、老朽化が進んでおり、年々悪化している状況である。今後予測される人口減少に伴い、水需要も減少が予想されているので、経営の健全性をこのまま維持することは難しいと考えられる。

施設更新時には、スペックダウンや、ダウンサイジングなどを検討し、将来の水需要に合った検討をしていく必要がある。また、施設・管路の寿命化など効率化に努め、また、広域化も含め事務の更なる見直しを行い、合理化を進めていく必要がある。

経営比較分析表（令和5年度決算）

埼玉県 毛呂山町

業務名	業種名	事業名	類似団体区分	管理者の情報
法非適用	下水道事業	農業集落排水	F2	非設置
資金不足比率(%)	自己資本構成比率(%)	普及率(%)	有収率(%)	1か月20m ³ 当たり家賃料金(円)
-	該当数値なし	1.70	102.85	1,925

人口(人)	面積(km ²)	人口密度(人/km ²)
32,365	34.07	949.96
処理区域内人口(人)	処理区域面積(km ²)	処理区域内人口密度(人/km ²)
546	0.24	2,275.00

グラフ凡例

- 当該団体値（当該値）
- 類似団体平均値（平均値）

【】 令和5年度全国平均

分析欄

1. 経営の健全性・効率性について

収益的収支比率・経費回収率
・収益的収支比率は100%未満となっており総収益でまかないきれいていません。また、経費回収率は全国平均より低く、地方償還金や費用不足分は一般会計からの繰入金により賄っている状況です。
原因としては、使用量の減少、老朽化による修繕費の増加が大きな要因と考えられます。利用料の改定を検討、修繕の一括発注等による経費削減に努め収益的収支比率及び経費回収率の改善を図ります。

汚水処理原価
・汚水処理原価は類似団体平均よりも高くなっています。会計システムの改修費用による増加の為、次年度は減少する見込みです。

施設利用率
・類似団体平均と比較すると高い数値となっていますが、より高い数値になるよう、将来的な人口減少等を考慮し施設規模の縮小等を検討します。

水洗化率
・水洗化率が99.27%と全国平均と比べても高い数値となっており、用水域の水質保全が図られています。今後も啓発等により接続率の向上に努めます。

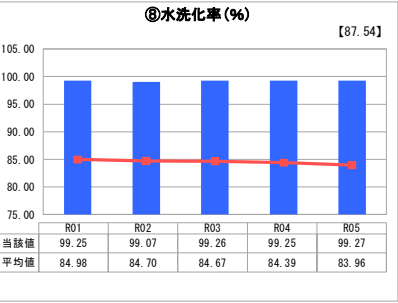
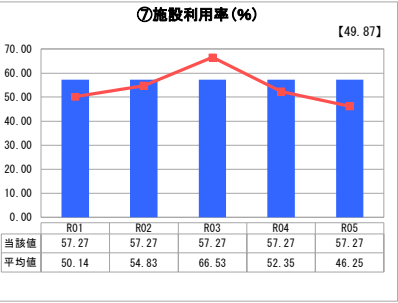
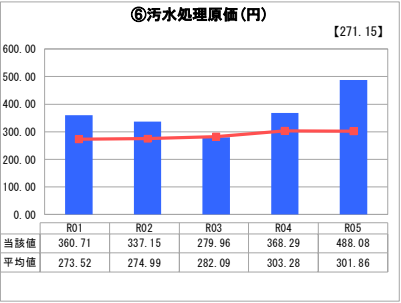
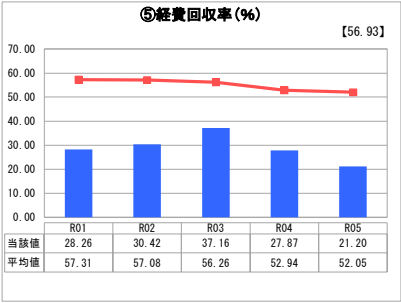
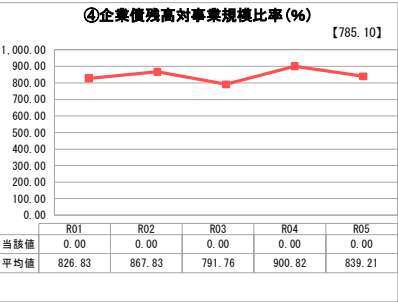
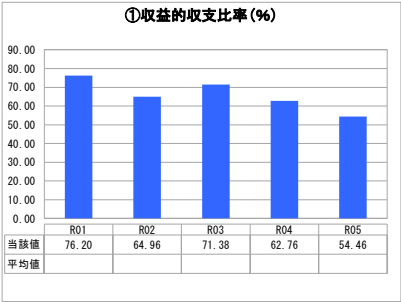
2. 老朽化の状況について

供用開始から20年以上が経過している処理場もあり、機械等の故障や老朽化が進行しています。更新工事の他に施設規模の統合、縮小等の検討を行い緊急修繕等にも柔軟に対応できるよう修繕を進めてまいります。

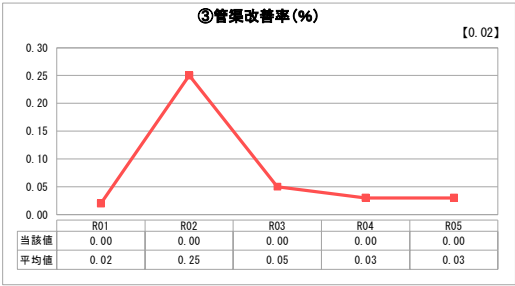
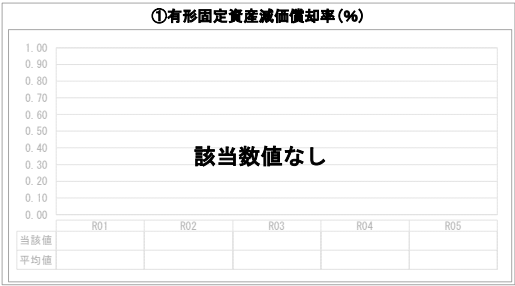
全体総括

収益的収支比率及び経費回収率が低い数値となっています。これらの改善の為、料金改定をはじめ処理施設の統合や公共下水への接続等抜本的な対策を検討を進め経営状況の改善を図ります。
また、最適化整備構想を基に修繕費用の平準化、機器の効率的な維持管理を行うことで、生活環境の維持・向上に努めます。

1. 経営の健全性・効率性



2. 老朽化の状況



※ 法適用企業と類似団体区分が同じため、収益的収支比率の類似団体平均等を表示していません。